

## 文化財研修講座

文化財課

### 令和2年度の文化財研修講座を終えて

文化財課では、県内の教職員や県民を対象として、令和元年5月に日本遺産に認定された「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群『麓』を歩く～」に係る県の取組の紹介及び「西南戦争を掘り、学ぶ事業」の報告を行うとともに、小松帯刀の没後150年であることから、小松帯刀と文化財の関連についての講演を実施しました。



文化財研修講座

「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群『麓』を歩く～」に係る県の取組の紹介では、12の麓等にはそれぞれ個性があり、その魅力を発信するためにスタンプラリーを実施することなどが紹介されました。

- ・ 麓地区の成り立ちがよくわかり、興味が出た。
- ・ スタンプラリーに参加したくなった。

【受講者のアンケートから】

「西南戦争を掘り、学ぶ事業」の報告では、県立埋蔵文化財センターから、多くが未調査であった西南戦争関連の遺跡についての調査報告が行われました。

- ・ 発掘調査の様子がよくわかった。
- ・ 西南戦争150年に向け、自分の地域でも関連文化財に注目したい。

【受講者のアンケートから】

講演では、県立図書館の原口泉館長に、「小松帯刀と文化財～古文書の保存と活用について～」と題して、古文書を読み解くことの重要性について、小松帯刀に関する新史料を題材としながらわかりやすく話ししていただきました。



原口館長の講演

- ・ 資料が豊富で話も興味深かった。
- ・ 新史料の解説がわかりやすかった。

【受講者のアンケートから】

### 令和3年度文化財研修講座の御案内

日 時	令和3年8月6日（金） 午後1時～午後4時10分 （受付：午後0時30分から）
講座内容	報告「近現代建造物緊急重点調査（建築）の調査成果について」 文化庁文化資源活用課近現代建造物部門調査官 野村光広 氏 鹿児島大学教授 鯨坂 徹 氏 県建築士会 厚村善人 氏 講演「鹿児島の石造建築について」 鹿児島県文化財保護審議会委員（建造物） 揚村 固 氏
場 所	鹿児島県歴史・美術センター黎明館講堂
定 員	100人
参 加 料	無料
※	上記講座等の日程・申込等の詳細については、後日、県ホームページ（ホーム＞教育・文化・交流＞文化・スポーツ＞文化財＞文化財研修講座）に掲載する予定です。
<お問合せ>	鹿児島県教育庁文化財課指定文化財係 TEL:099-286-5355 FAX:099-286-5675 MAIL:siteibun@pref.kagoshima.lg.jp